

「読み解く力」マネジメントシート(活用の手引き)

★全ての児童が「読み解く力」を、高め、発揮し、学びを実感できる授業づくりに向けて

学校の教育目標

校内研究主題

各教科等で育成したい資質・能力を踏まえて記述します



P

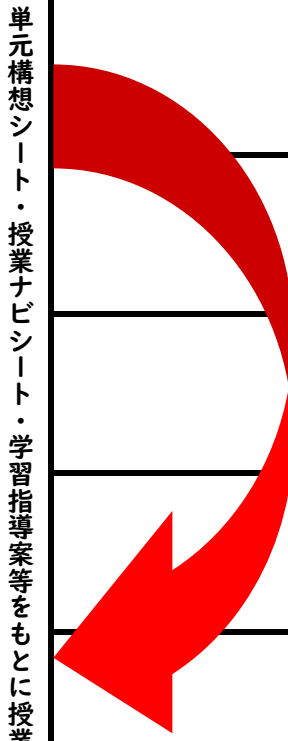
P

「読み解く力」マネジメントシートのねらい

- ①児童生徒の実態を把握し、年間を見通して、計画的に「読み解く力」を育成する
- ②校内研究・授業参観を通しての学びや、自身の実践を通じた成果と課題を整理し、実践に生かすことで、「読み解く力」を育成する授業づくりのPDCAサイクルの確立を図る



月	「読み解く力」の育成を図る授業について ①教科 ②単元 ③育成したい資質・能力 ④重点となる指導事項	「再構築」をしている姿を想定し、その姿となるように、何を、どのように「発見・蓄積」「分析・整理」するのか	校内研修や授業参観を通して「読み解く力」を、高め、発揮する授業づくりについて学んだことや見いだした視点	自身の実践を通して「読み解く力」を、高め、発揮する授業づくりとして有効な単元構成や学習展開の工夫、手立	①今後の実践で取り組みたいこと ②学校に広げたいこと ③汎教科的な視点で他教科でも取り組める視点	月
4月	《4～7月の授業実践》 ①国語科 ②「こまを楽しむ」(光村図書) ③段落とその中心を捉えて読む ④ 〔知識及び技能〕 (2)情報の扱い方に関する事項ア 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと ア	《4～7月の授業実践》 [再構築をしている姿] 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係を、叙述を基に捉えている姿 [何を、どのように発見・蓄積するか] ・低学年での学習を生かして、順序を考えながら内容の大体を捉えている ・段落の関係について理解している ・文章中から、考えとそれを支える理由や事例を捉えている [何を、どのように分析・整理するか] 考えとそれを支える理由や事例について関係を考え、つながりを整理している	子どもが「分析・整理」するための方法を理解し、目的に応じて選択できるようにすること	「再構築」している子どもの姿を想定し、子どもが単元のめあてを明確にもち、目的に応じた「発見・蓄積」「分析・整理」「再構築」へ向かうことができる単元の構成を工夫すること	①子どもが目的意識をもつことができる導入の工夫 ②授業は子ども主体であるかの確認 ③どの教科でも交流するよさや「再構築」するよさを実感できる授業づくり	4月
5月						5月
6月						6月
7月						7月
8月	《8～12月の授業実践》 ①国語科 ②「すがたをかえる大豆」 ③話題と例の書き方を捉えて読み、例の書き方を生かして説明する文章を書く ④〔知識及び技能〕 (2)情報の扱い方に関する事項イ 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと ウ C 読むこと ア	《8～12月の授業実践》 [再構築をしている姿] 話題と事例の書かれ方を捉えて読み、事例の書き方を生かして説明する文章を書いている姿 [何を、どのように発見・蓄積するか] ・「こまを楽しむ」の学習を生かして、「はじめ」「中」「終わり」に分ける ・題名や「はじめ」から話題を確かめて読む ・科学読み物での調べ方を理解し、自分の決めた「姿を変えて食品になる材料」について必要な情報をいくつか調べて集める [何を、どのように分析・整理するか] ・事例の順序の意図や筆者の説明の仕方の工夫を考えるために、話題と事例のつながりを捉え、事例を比較して整理する ・科学読み物から調べた内容を、図や表を使って整理する ・整理した内容を比較し、自分の考えと考えにあった事例を取り上げ、説明する順序を工夫して構成を組み立てる				8月
9月						9月
10月						10月
11月						11月
12月						12月



☞計画を立てる際に…
育成したい資質・能力が確実に積み上がるように、教科・単元・領域・学習内容の系統性を考えましょう

☞実践を通して…
子どもの学習の状況を見取り、学び直す機会を設定したり、他教科で活用したりする場面をつくりましょう

☞取組の成果と課題から
児童生徒の学びがつながるように
しましょう

月	「読み解く力」の育成を図る授業について ①教科 ②単元 ③育成したい資質・能力 ④重点となる指導事項	「再構築」をしている姿を想定し、その姿となるように、何を、どのように「発見・蓄積」「分析・整理」するのか	校内研修や授業参観を通して「読み解く力」を、高め、発揮する授業づくりについて学んだことや見いだした視点	自身の実践を通して「読み解く力」を、高め、発揮する授業づくりとして有効な単元構成や学習展開の工夫、手立	①今後の実践で取り組みたいこと ②学校に広げたいこと ③汎教科的な視点で他教科でも取り組める視点	月
1月	《1～3月の授業実践》 ①国語科 ②「ありの行列」 ③読んで感想をもち、伝え合う ④〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと オカ	《1～3月の授業実践》 〔再構築をしている姿〕 文章の内容について理解したことを基に、自分の体験や既習の内容と結び付けて感想をもち、伝え合っている姿 〔何を、どのように発見・蓄積するか〕 ・「こまを楽しむ」の学習を生かして、「はじめ」「中」「終わり」の組立てや、文章全体の「問い」と「答え」を考えて読む ・初めて知ったことやおどろいたこと等を文章から見つけ、その理由を考える 〔何を、どのように分析・整理するか〕 ・「ありの行列」に書かれていることを短くまとめるために、「ウィルソンの研究の進め方」や「ありが行列を作る仕組み」が書かれている段落を探して、大事な言葉や文に気を付けて、段落と段落のつながりを整理する ・初めて知ったことやおどろいたこと等について、その理由を自分の体験や既習の内容と結び付け、目的に合わせて選んでいる			本研究でいう「汎教科的」とは全ての教科・領域等の学習で幅広く」という意味です	1月
2月						2月
3月						3月

授業実践を行う

次年度に向けて…
今年度の学びを次年度につな
げられるように成果と課題を
まとめ、必要に応じて学校全
体での取組に生かしましょう

1年間を振り返って(個人)

① 1年間を通して、児童に身に付いた「読み解く力」
② ①を根拠にして今後も大事にしたい授業づくりの視点、有効な単元構成や学習展開の工夫、手立て
③ 未だ課題と考えられる児童の実態
④ ③の実態を踏まえて、次年度に取り組むこと

年間を通して記録したことを基に、児童生徒の姿と
関連付けて、個人の実践について成果と課題を振り返る

次年度へ向けて(学校全体)

① 児童の実態や今年度の成果と課題から、学校全体で次年度に取り組んだ方がよいと考えること
② 教育課程の編成において、カリキュラムマネジメントの視点からの検討課題と考えること

成果と課題を基に、次年度に学校全体で取り組むこと等を
検討する